2006 年 9月 13 日

各　　位

会 社 名　イオン九州株式会社
代表者名　代表取締役社長 松 井　博 史
（登録銘柄・コード番号　2653 ）
問合せ先　取締役経営管理本部長
宇 都 宮　剛
（TEL.　092 － 441 － 0611 ）
当社の親会社　　イオン株式会社
代表執行役社長 岡 田 元 也
（コード番号 8267）

2007 年 2月期 中間業績予想の修正に関するお知らせ

2007 年2月期中間業績予想について、2006 年4月5日付当社「2006 年2月期決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1．2007 年2月期中間業績予想の修正等（2006 年 2月 21 日 ～ 2006 年 8月 20 日）

【単位：百万円】

	営業収益	経常利益	中間純利益
前 回 発 表 予 想(A)	103,000	△ 350	△ 320
今 回 修 正 予 想(B)	102,417	△ 207	△ 182
増　減　額(B－A)	△ 583	143	138
増　減　率(%)	△ 0.6	－	－
（ご参考） 前 中 間 期 実 績	97,182	△ 606	△ 2,133

2．業績予想の修正理由

当中間期の売上は、天候不順により衣料品やホームセンター商品の一部で伸び悩みましたが、曜日催事の強化や地産地消の拡大等による地域対応の強化に努めた食料品が、既存店伸び率 104.4%と全体を牽引しました。この結果、GMS事業で既存店伸び率 100.5%と前年をクリアし、会社合計では、同 99.8%と堅調に推移しました。

またITの活用による売場効率の向上や在庫の削減、食品の廃棄ロス削減、トップバリュの拡販などの取り組みにより、売価変更の削減と値入率の改善が進み、売上総利益率は、会社合計で 0.6 ポイントの改善ができました。

販管費はエリア合同販促の推進等による販促費の効率的活用や、省エネの徹底による設備費の低減等により、計画内にコントロールすることができました。

なお、通期の業績予想につきましては、当初予想より修正はありません。

以上

【ご参考】

通期業績予想（2006 年2月 21 日～2007 年2月 20 日）　【単位：百万円】

	営業収益	経常利益	当期純利益
通期業績 予想 (2006 年 2 月 21 日～2007 年 2 月 20 日)	214,000	1,500	550
前年通期業績 実績 (2005 年 2 月 21 日～2006 年 2 月 20 日)	200,088	831	△1,426

（注）今回の修正値は、現在入手可能な情報に基づき算出した値ですので、実際の決算とは異なる可能性があります。